

http://www

インフラ・イノベーション 研究会のご案内

東京大学「情報技術によるインフラ高度化」社会連携講座

東京大学大学院情報学環ユビキタス情報社会基盤研究センター，〒113-0033，東京都文京区本郷 7-3-1
URL: <http://www.advanced-infra.org/> E-mail: info@advanced-infra.org Tel: 03-5841-1070

1. 趣旨

日本における社会資本の現状は、今後 20 年間で、老朽化した橋梁（50 年以上）の割合は約 4 倍に増え（約 12%→約 48%）※1、技術者は約 2 割減少し（約 260 万人→約 210 万人）※2、維持管理コストは約 4 割増加する（約 5.4 兆円→約 7.8 兆円）※3 と予測されている。こうした状況に対応するには、これまでの延長線上での改善では困難であり、革新的な取り組みが不可欠である。一方、情報通信技術の進展は、情報検索、位置特定、電子商取引、ITS 等の様々な革新的なサービスを生み出しており、社会資本が直面する課題の解決にも大きく寄与するであろう。

今後一層重要となる社会資本の維持管理は新たな成長分野であり、「情報技術によるインフラ高度化」はビジネスとして大きな可能性を持つ。

インフラ・イノベーション研究会では、公物・施設・空間管理分野と情報技術分野におけるシーズとニーズ、技術と運用、理論と実践といった様々な知識や経験を結合し、新しい価値を生み出すこと、産・学・官の横断的な人的・知的なネットワークを創りだすことを目的に、オープンで実践的な研究のプラットフォームとして活動する。具体的な研究テーマは、以下の 5 テーマである※4。

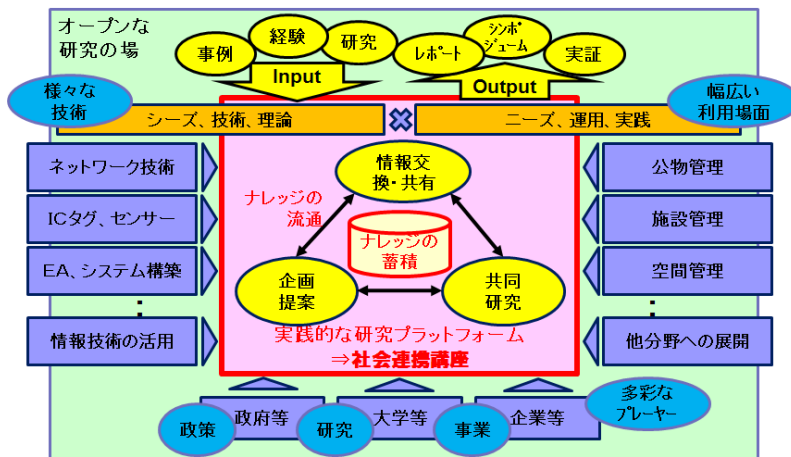
※1 平成 20 年国総研発表資料 ※2 平成 14 年文部科学省試算 ※3 平成 7 年国土交通省試算
※4 平成 21 年度東京大学「情報技術によるインフラ高度化」社会連携講座年間レポート

- (1) 点検・維持管理等現場業務の効率化
- (2) 技術力の維持と安全性の向上
- (3) 効率的な施設運営
- (4) 情報共有基盤の構築と活用
- (5) 現実空間と情報空間の連携

入会方法

- 1 電子メールで受付します
- 2 タイトルに「研究会入会申込」と記入してください
- 3 本文に団体名(個人名)、連絡先、参加費口数を明記してください
- 4 宛先は info@advanced-infra.org です
- 5 インフラ・イノベーション研究会事務局からの連絡をお待ちください

未来のインフラを
一緒に
創りませんか



・オープンな研究の場には、施設管理～情報技術、現場管理～コンサルティング等、多様な分野、業種が参加する。
□国：総務省、経済産業省、国土交通省、(独)土木研究所、□地方自治体：東京都 他、□大学：東京大学 他
□企業関係：公物・施設管理/建設事業/土木系コンサル/通信事業/SI事業/関連ソフト・デバイス/IT系コンサル 等

2. 運営方針

社会・経済の発展及び関連産業の活性化に資するため、イノベーションが促進されるよう参加者の積極的な参加・協力のもと次の方針に基づき運営される。

- (1) 多様な主体が参加できるオープン＆フェアな環境を整備するよう努める
- (2) 幅広い知識や経験が交流し、新しい価値が生み出されるよう努める
- (3) 研究会における取り組みが実用化され、幅広く展開されるよう努める

3. 活動内容

研究会の活動内容は次の通り。参加者の提案を踏まえて随時見直しを行う。

- (1) 講演会等：上記の5テーマを中心に講演会等を定期的で開催
- (2) 交流会：研究会参加企業・団体等により、新たな事業等について意見交換
- (3) 上記の他、情報発信など研究会の目的に寄与する活動

平成22年度の活動は下表のテーマで5回の開催を予定している^{※5}。

開催時間は16:00-18:30(発表40分×3名、ディスカッション30分で構成)、研究会終了後に参加者による交流会を開催する。

※5：日程、テーマ等については予告なしに変更することがある

日程	テーマ	概要
H22年 6月17日	点検・維持管理等現場業務の効率化	現場で使える情報技術の視点から、新しい取り組みの紹介と現場に導入するための課題を考える。
H22年 8月26日	技術力の維持と安全性の向上	情報流通による人材育成の可能性と、技術力の維持に必要なスキルの体系化について考える。
H22年 10月21日	効率的な施設運営	情報技術を活用した電力・交通・水道等の効率的な運営とインフラ企業にとっての意味を考える。
H22年 12月16日	情報共有基盤の構築と活用	位置情報基盤の現状と課題を明らかにし、期待される活用分野・具体的サービスについて考える。
H23年 2月17日	現実空間と情報空間の連携	現実空間と情報空間の連携による新しいビジネスの可能性、インフラ高度化との関係を考える。

4. 参加要件

- (1) 社会連携講座設置企業、研究協力機関
- (2) 関連する共同研究契約等締結企業・団体
- (3) 研究会会員：本研究会の目的・活動等に賛同し協力する企業・団体等

参加費^{※6※7}：1口10万円

※6：社会連携講座設置企業、研究協力機関、関連する共同研究契約等締結企業・団体は参加費不要

※7：東京大学への寄付金(研究助成)として申請

5. 主催及び事務局

本研究会は東京大学「情報技術によるインフラ高度化」社会連携講座が主催する。社会連携講座担当教員が、本研究会の事務局を担当する。

6. 問合せ先

東京大学「情報技術によるインフラ高度化」社会連携講座

インフラ・イノベーション研究会担当：二宮

TEL:03-5841-1070

E-Mail:info@advanced-infra.org

あなたの参加が
新しい価値を
生み出します



社会連携講座のロゴ(作成中)